

みやぎハイスクール通信

第5号

発行日：令和7年9月26日

発行者：宮城県教育庁高校教育課

<https://www.pref.miyagi.jp/site/sub-jigyou/gak-mailmaga-bknum.html>

県立高校の旬な情報をお届けします。マナーアップの取組や特色ある学校行事の紹介、生徒の活躍（成果報告等）、入学を目指す皆さんへのお知らせなど、魅力的な取組に関する情報が満載です。

中学生の皆さんの進路選択に、ぜひ御活用ください。

9月号の目次

1 マナーアップの取組紹介

（1）宮城広瀬高校 （2）南郷高校

2 特色ある学校行事等の紹介

（1）角田高校 （2）迫桜高校 （3）亘理高校 （4）石巻高校

（5）泉高校 （6）宮城野高校 （7）松島高校 （8）富谷高校

（9）古川黎明高校 （10）築館高校 （11）岩ヶ崎高校 （12）本吉響高校

3 生徒の活躍（活動の成果報告等）

（1）白石工業高校 （2）蔵王高校・白石高校蔵王キャンパス

（3）登米総合産業高校 （4）柴田高校 （5）名取高校 （6）塩釜高校

（7）古川高校 （8）鹿島台商業高校 （9）第二工業高校

4 入学を目指す皆さんへ（お知らせ・メッセージ）

（1）村田高校 （2）利府高校 （3）黒川高校 （4）佐沼高校

（5）築館高校一迫商業キャンパス （6）東松島高校

1 マナーアップの取組紹介

(1) 宮城広瀬高校

〈地域と一緒に交通安全〉

本校は、仙山線の陸前落合駅から徒歩8分のところに位置し、宮城県こども病院や宮城県立拓桃支援学校が隣接しています。交通の便に恵まれているのが本校の強みである一方、交通量の多さゆえに交通事故の危険にさらされています。そのため、交通安全は、地域の方々との共通の課題です。

毎年宮城地区自転車マナーアップ推進協議会に属し、交通安全協会や交通指導隊、防犯協会、仙台北警察署、愛子地区連合町内会、みやぎ仙台商工会、宮城総合支所などと一緒に官民挙げてマナーアップ運動に取り組んでいます。

概ね毎月第4木曜日に、本校又は陸前落合駅や愛子駅前で地域の方々と一緒にチラシの配布やのぼり旗による啓発活動を行っています。

本校の詳細を知りたい場合は以下のURLより本校のHPを御覧ください。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://hirose-h.myswan.ed.jp/>

（２）南郷高校

〈マナー向上の取組〉

南郷高校では、生活全般におけるマナーアップを図るため、次のような活動や行事を行っています。

○ 挨拶運動の実施

毎月、昇降口において生徒会役員・生活委員・教員による全校生徒への挨拶運動を実施しています。今年も昨年に引き続き、外に出て生徒だけでなく教員や保護者の方への挨拶運動も実施しています。

○ インターネット安全利用教室の実施

年に一度、遠田警察署から講師を招いて、インターネットやスマートフォンの安全な使い方やモラル・マナーの向上を図るために、インターネット安全利用教室を実施しています。

○ クリーンアップ活動の実施

生徒会役員の生徒を中心にクリーンアップ活動を毎月、実施しています。

内容は、学校周辺のゴミ拾いです。学校周辺にはタバコの吸い殻やペットボトル、缶などたくさんのゴミが落ちており、美里町 南郷地区が、より綺麗な町になるよう地域貢献活動の一つとして取り組んでいます。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://nango-h.myswan.ed.jp/>

2 特色ある学校行事等の紹介

(1) 角田高校

〈グリーンフィールド市からの訪問団との交流会〉

角田市の姉妹都市であるアメリカ・グリーンフィールド市からの訪問団 10 名が本校を訪れました。本校生徒が英語で校舎を案内した後、交流会を行いました。

交流会では、けん玉、あやとり、折り紙、トランプ、書道、クイズ、茶道で、日本の伝統文化や遊びを体験してもらいました。

〈角高祭が開催されました〉

8 月 29 日（金）、30 日（土）に角高祭が開催されました。文化部のステージ発表や展示発表に加え、1～3 年次の全クラスが工夫を凝らした模擬店を企画し、一般公開日は 500 人を超える来場者で賑わいました。



★10 月 14 日（火）9 時 30 分～12 時に秋のオープンスクールを開催します。

詳しくは学校ホームページを御覧ください★

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://kakuko.myswan.ed.jp>

(2) 迫桜高校

〈校内スポーツ大会〉

本校では、毎年 7 月に校内スポーツ大会が開催されます。2 日間をかけ、数多くの種目に挑戦し、クラス対抗で優勝を目指します。今年度はバレーボール、ドッジボール、年次対抗リレー、綱引き、借り物競走、そして新しい競技種目として「ポッチャ」も加わり、生徒達は皆楽しみながら優勝を目指し、真剣に取り組んでいました。また、クラス毎に皆で選んだクラス T シャツを着用し、クラス丸となって競技に参加したり、応援したりと、盛り上がりを見せていました。全校生徒の熱い思いが一つになっていると感じることができた非常に貴重な瞬間でした。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

(3) 巨理高校

〈巨理高校露地畑石拾い実習・ファームバレー大会が実施されました〉

8月29日（金）に、今年度で5年目となる巨理高校露地畑石拾い実習・ファームバレー大会を行いました。

今年度も上半期に露地畑で、枝豆栽培を行い、下半期の秋野菜（大根・白菜・キャベツ・ブロッコリー）を栽培するために、露地畑の石拾いを、全学年の農業関係生徒全員で行いました。開会式では、本校露地畑には石が多いことと、石が減ることで野菜栽培に対する効果を学び、精力的に実習を行う様子が見られました。

実習終了後に、再度トラクターによる耕運を行うことで、フカフカの土にしました。そして、男子バレーボール部の協力を得ながら、ビーチバレー専用コートを設置し、ファームバレーを実施しました。特色ある学校の行事として、本校クラブ員全員参加の行事を実施しております。農業クラブ活動を充実させ、農業クラブ員同士の親睦を深めることを目的に実施しております。

今年も、泥だらけになりながら畑に飛び込んでレシーブをし、優勝チームに与えられる「金のバケツ」の獲得を目指して、各クラス一丸となって取り組んでいました。

学校のウェブサイトでは学校行事や学習の様子を公開しています。ぜひ御覧ください。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://watari-h.myswan.ed.jp/>

(4) 石巻高校

〈「鰐陵未来塾」を実施しました！〉

8月1日（金）に「鰐陵未来塾」を行いました。このイベントは夏休みに石巻地域の小学生と中学生が本校の教職を目指す生徒と一緒に勉強して交流を深める企画です。本校生徒にとっても普段関わる機会が少ない小、中学生と一緒に勉強することはとても良い機会となりました。小、中学生のみなさんにとっても良い機会だと感じてもらえたら大変嬉しいです。来ていただきました小学生、中学生のみなさん、ありがとうございました！



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://sekikou.myswan.ed.jp/>

(5) 泉高校

〈2025年度 アメリカ短期留学生受け入れ〉

6月30日（月）から一週間、アメリカイーストビュー高校から8名の留学生を迎え、英語科の生徒がバディ（相棒）となり、一緒に授業を受けたり、校外学習に出かけたりしました。留学生は英語の授業だけでなく、体育や音楽の授業にも参加し、さらに総合的な探究の時間では「日本語学習の難しさ」について発表したり、本校生の英語での発表に鋭い質問を投げかけたりしました。校外学習では、生徒による企画・案内での蔵王観光や、バディが通訳補助をしながら一緒に踊る日本舞踊体験などを行いました。

英語科の生徒が留学生と共に様々な体験をする中で、実践的英語力を高めるだけでなく、異文化への理解と感受性を深めることができた貴重な一週間でした。



〈2025年度 英語科発表会〉

8月29日（金）、仙台市泉区の仙台銀行ホール イズミティ21にて、英語科発表会が開催されました。この発表会では、英語科に所属する全学年の生徒が、当日の運営から各種発表までを主体的に担当しました。生徒たちは緊張しながらも、日頃の学習成果を存分に発揮し、英語によるプレゼンテーション（自身が興味を持ったテーマについての発表）、レシテーション（英語の暗唱）、ディベート（特定のテーマに対して賛成・反対に分かれて討論）など、様々なパフォーマンスを披露しました。

今年度はタイとドイツの高校生が短期で本校に留学しており、それぞれの留学生が母国の文化や自分のルーツについてのプレゼンテーションを英語で行い、国際色あふれる発表会となりました。



来賓として御出席いただいた宮城県教育委員会指導主事・渡邊伸明氏からは、特に3年生の発表に対して高い評価と温かいお言葉を頂戴しました。これを受け、生徒たちは英語力のさらなる向上に向けて、決意を新たにしていました。

〈 学校のホームページはこちらです 〉

⇒ <https://izumihigh.myswan.ed.jp>

〈 学校のInstagramはこちらです 〉⇒



(6) 宮城野高校

〈ゼミフェス（探究発表会）〉

本校で実施している「未来構想ゼミナール（探究活動）」（以降ゼミ）は、生徒一人一人の興味・関心に応じて各々が主体的に活動できるように4系統13分野に分かれて講座が開設されています。そしてこの度、8月28日（木）に、活動の集大成となるゼミフェス（探究発表会）を開催しました。私たちが「ゼミフェス」と呼ぶように、発表の形態はそれぞれのゼミが工夫を凝らして特色を出せるように、極力縛りを外すようにしました。ポスター発表をするゼミ、パワーポイントで発表するゼミ、作品を展示して解説するゼミ、音楽を演奏するゼミ、演劇を披露するゼミというように、様々なスタイルで自分たちが探究活動を通して得た学びを視聴者に伝えようと努めていました。

また、福島県立福島高校、仙台二華高校、仙台向山高校、小牛田農林高校の生徒を招待して発表していただきましたが、本校生も国際語学ゼミ、学問探究文系ゼミ、データサイエンスゼミが代表発表し、お互いに刺激を受け、

学校間の交流を深めることができました。本校生の多様なテーマと表現方法が他校生に何らかの刺激となれば幸いと考えており、両者の交流が宮城県の高校生の探究活動をより活性化していくものと期待しています。

今回のゼミフェスには、外部からお招きした4名の講師の他、これまでの活動でお世話になった方々、県内高等学校の先生方、保護者など多くの方々に参観していただきました。これからも多様な観点から御意見を承り、より一層本校の教育活動を発展させていければと思います。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://miyagino.myswan.ed.jp/>

（７）松島高校

〈観光地実習（観光科１年生）が実施されました。〉

７月２６日（土）から８月１日（金）までの夏休み期間に、松島町内の企業様・事業所様を中心に御協力をいただき、観光産業を題材とした観光地実習を行いました。

実習の目的は、「松島の観光産業の『おもてなしの心』とは、どのようなものを学ぶ」「松島の観光産業の『コミュニケーション力』とは、どのようなものを学ぶ」「松島の観光産業の課題を考え、改善策を探究できる生徒の育成」としています。生徒は、接客や受付、掃除といった業務内容を通して、社会人に必要な能力を学ぶだけではなく、現在の松島町の観光産業の実状を肌で感じる事ができました。

参加した生徒からは、「お客様のために、どうしても喜んでもらえるかを考えながら働くことは、楽しくもありましたがとても大変でした」、「従業員の皆さんの気配りやお客様の变化に気付く力に本当に驚きました」、「大変なこともありましたが、今回の実習を通して観光業に興味を持つことができました」、「私は実習を通して、松島町にはこんなにも多くの外国人の方が訪れてくるということに驚きました」、「私はお茶をお出しする際に、何と言って出したら良いのか分からず、何も言わずに出してしまい後で後悔しました。もっと英語を勉強することで、観光業界で活躍できるのではないかと思います、より一層英語の学習に励みたいと考えました」といった感想が聞かれました。

今回の実習は、生徒一人ひとりが観光産業について考えるきっかけとなり、その後の学校生活に良い影響を与えるものとなりました。御協力いただいた松島町の皆様に感謝するとともに、これからの生徒の成長に期待してまいります。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://matsushima-h.myswan.ed.jp/>

(8) 富谷高校

〈富高ビブリオバトル 2025〉

7月15日(火)放課後、図書館でビブリオバトルが開催されました。各学年図書委員及び希望者による総勢35名の熱い闘いが繰り広げられました。

まずは、学年関係なく6グループで実施する予選です。始めに自己紹介、次に3分間で本の紹介をし、その後2分間のディスカッションをします。初めて顔を合わせた発表参加者が多く、ディスカッションも「質問をするので精いっぱい」な場面が見られましたが、次第に共感の言葉をかけ合ったり、好きな作家さんの話題で盛り上がったりしているグループもありました。

次は本選です。各グループの代表に選ばれた6名の生徒でバトルをしました。代表それぞれの個性が光る本の紹介となり、参加者の多くはどの作品に対しても興味を抱いたようでした。

投票の結果、チャンプ本は2年生が紹介した『口に関するアンケート』(背筋 著・ポプラ社 刊)になりました。本の内容を上手くぼかした紹介と「・・・みなさん、口は災いのもとですよ・・・」の少しドキッとするひと言に惹かれたオーディエンスからの票が集まった結果と考えられます。

表彰式では、チャンプになった生徒に金メダルが授与されました。そして、学校保管のトロフィーには、優勝者の名前を書き込んだペナントが付けられ、富谷高校の歴史に名を残すことになりました。

最初は、ほとんどの発表参加者が自信のない不安そうな顔をしています。最後には「やりきった!」というスッキリした顔が見られるこの行事。多くの本の魅力を知る良い機会にもなります。これからも、富高ビブリオバトルは盛り上がっていきます。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://tomiya-h.myswan.ed.jp>

（９）古川黎明高校

〈地域小中学生向けの科学事業〉

SSH（スーパーサイエンスハイスクール）である本校では、SSH 事業の成果を地域に普及する取組の一環として、地域の小中学生を対象に様々な活動を展開しています。以下にその一部を紹介します。関係する部活動はもちろん、教員志望の生徒をはじめ、有志として高校生約 40 人が活動に関わっています。



〈パレット夏まつり〉

8 月 17 日（日）のパレット夏まつりでは、本校中学校と高校の自然科学部が 5 つの実験を実施し、約 400 人の小学生及び保護者と科学の面白さを共有しました。

〈おおさき小中学生自由研究チャレンジ〉

今年 5 回目になる自由研究チャレンジでは、夏休み前にワークショップを行ったあと、9 月上旬に研究成果を提出し、9 月 28 日（日）から 10 月 12 日（日）までパレットおおさきで展示発表、10 月 5 日（日）に交流会を行う企画です。



7 月 26 日（土）のワークショップでは小学生 13 人が自由研究で取り組みたいことについて、高校生有志のティーチング・アシスタントと意見交換をし、助言を得ました。

〈おおさき iPad まつり〉

9 月 6 日（土）に第 4 回となる「おおさき iPad まつり」が行われました。高校パソコン部を中心に、40 人の小学生にドローンの操作やプログラミング体験として iPad 画面上の人物が自由に動くプログラムを自分たちで組むなど、iPad を活用した理系体験を楽しみました。



〈 学校のホームページはこちらです 〉
<https://freimei-h.myswan.ed.jp>

（１０）築館高校

〈日本一住みやすい街「くりはら」プロジェクト【総合的な探究の時間】〉

築館高校では、総合的な探究の時間のメインテーマとして「日本一住みやすい街『くりはら』プロジェクト」と称し、生徒自身が地域課題を発見し市長や市議会議員に解決策を提言することを目的とする探究活動を実施しています。これは、築高が生徒に推奨しているボランティア活動「地域貢献プロジェクト」と根を同じくする取組です。栗原市は県内でも人口減少・高齢化の著しい地域です。この活動には、そのような土地だからこそ、鋭い感性とユニークな視点を持つ高校生が市の発展に貢献し、地元愛を深めてほしいという願いが込められています。「くりはらプロジェクト」は、１年次の探究メソッド学習を皮切りに、３年次の「なりたい自分宣言」で完結する長期間の活動ですが、生徒たちはチームを作り、楽しみながら郷土の探究に取り組んでいます。地元の多くの方々と交流し、時に支援をいただく経験が生徒たちの心に大きな変化を与え、郷土愛を再確認するきっかけにもなっているようです。また、この探究活動での発見や気づき、地域の方々との出会いなどから自らの職業を決定したり、進学先・学問分野を決定したりする生徒も少なくありません。



フィールドワーク（２年生）



岩手大学 今井潤先生よりアドバイス



探究成果発表会（２年生 市長・市議会議員の方々へのプレゼンテーション）



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://tukiko.myswan.ed.jp>

(11) 岩ヶ崎高校

〈高校生の熱い挑戦を聞いてください〉

7月25日（金）、北部地区進学重点校及び本校3年生による合同探究成果発表会が行われました。発表では「半径∞」をテーマに、地域活性に向けた提案や野生動物との向き合い方、フレイル予防のための弁当開発など多彩な活動が紹介されました。生徒達は、ポスターやスライド・試作品を用いながら聴衆にわかりやすく伝えようと工夫を凝らし、堂々と発表していました。当日は、多くの方に御来場いただき、温かい御助言や励ましの言葉をいただくことができました。この発表会を通して、生徒一人ひとりが自ら学びを深め、表現する力を育む貴重な機会となりました。9月11日（木）には、1・2年生探究発表会を開催しました。



〈いざ、探究ツアーへ〉

7月19日（土）、「見て・感じて・考えよう！～あの日から今、そして未来へ～」と題して岩高探究ツアーを実施しました。この企画は、震災及び復興についての理解を深め、地域復興や震災伝承への在り方について考えることや探究的な学びや地元理解を深めることを目的として3年前から行っています。毎年、場所の選定に苦慮するのですが、今回はなんと、生徒が探究活動の一環として、行程を考え実施に至りました。午前中は、多賀城高校防災科の生徒とともに「津波伝承まち歩き」を行い、電柱に残った津波の痕を捜しながらどのように避難すべきか考えました。午後は「仙台うみの杜水族館」で沿岸の復興状況や海洋生物への理解を深めました。次はどんなプランになるのか。乞う御期待！



〈 学校のホームページはこちらです 〉
<https://iwagasakikou.myswan.ed.jp>

(12) 本吉響高校

〈地域と力を合わせて ～ 高校生の挑戦！！〉

本校、福祉専攻に気仙沼青年会議所から「ゆるスポ」開発の話が舞い込んできました。高齢者向けのイベント「生き生き元気フェスティバル」で活用したいというものでした。気仙沼市の高齢化率が40.8%に達したことを受け「フレイル予防」の観点から「ゆるスポ」の開発に至ったようでした。授業でもその話題になっていたこともあり、「ゆるスポ」開発の話を引き受けることにしました。開発にあたっては、どのような機能低下に働きかけたいか等、時間をかけてじっくりと話し合いをもちました。話し合いを進める中で、「ゆるスポ」として一つに特化するのではなく、「すごろく形式」にすることで、様々な要素（認知機能や筋力に働きかけるもの等）を取り入れられるのではないかと意見が出され、様々なジャンル（脳トレ・運動等）から活動できるように工夫しました。すごろくの内容は、参加者同士で話ができる場作りを意識して、①脳トレ編（計算問題、方言、気仙沼の名産等を出題）、②運動編（足踏み体操や口腔体操等を行う）、③コミュニケーション編（お互いに趣味の伝え合いをする）という3つの要素を盛り込み、バリエーション豊かなゲームとなるよう工夫しました。そして完成したのが「みんなでやっぺ！！気仙沼すごろく」です。これを、9月21日（日）の「生き生き元気フェスティバル」で気仙沼市の高齢者の方々に活用していただきました。私達の日々の学びが地域の高齢者の方々の役に立てることを嬉しく思います。



高齢者の身体状況に近づけて「すごろく」をする生徒



報道向けに「すごろく」をPRする生徒

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://hibiki-h.myswan.ed.jp/>

3 生徒の活躍（活動の成果報告等）

（1）白石工業高校

〈『体育大会～団結・縦の繋がり～』〉

我々は、機械科・電気科・建築科・工業化学科・設備工業科の5つの学科を有した学校です。普通科目に加えて各科特有の専門科目を学習し、目標に向かって努力しています。

7月3日（木）・4日（金）に体育大会が開催されました。バレー、バドミントン、リレーは学年を越えてクラス同士で戦い、ソフトボールは学科対抗で戦いました。特に、ソフトボールでは3年生が1年生に積極的に声をかけたりお互いに励まし合ったりする様子が見られたのが印象的でした。生徒にとって思い出に残る行事になったと思います。



今後は、10月24日（金）・25日（土）に文化祭を予定しています。工業部・文化部を中心に様々な展示をします。工業高校ならではの魅力を感じることができますので興味を持った方は是非お越しください！お待ちしております！

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://shiroishi-kougyou.myswan.ed.jp/>

(2) 蔵王高校・白石高校 蔵王キャンパス

〈ジオ・ツアー〉

本校では、蔵王町と連携した地域探究・魅力発信の取組として「クラブ・ジオパーク活動」を全校生徒で行っています。中でも蔵王町の魅力を知り、発信する活動を行うジオ・ツアー実践学習では、生徒達が主体となってツアーを企画・運営します。8月には実践学習（ジオ・ツアー）に向けて、尚絅学院大学の学生19名に対して蔵王高校2年生が実際にガイドを行い、共に探究学習を行いました。担当した生徒は緊張していましたが、ジオサイトのガイドを行ったり、バス移動中も車内で蔵王町の魅力をアナウンスしたりなど、10月4日（土）に開催されるジオ・ツアーの成功に向け、一生懸命学習に取り組んでいました。ジオ・ツアーに参加希望の方は蔵王高校までお問い合わせ、または蔵王高校ホームページを御覧ください。

〈高大連携の様子〉



〈 蔵王高校のホームページはこちらです 〉

<https://zao-h.myswan.ed.jp/>

〈 白石高校蔵王キャンパスのホームページはこちらです 〉

<https://zao-ca.myswan.ed.jp/>

(3) 登米総合産業高校

〈登米総生、全国の舞台で輝く！〉

今年度も、多くの生徒が全国大会出場という快挙を成し遂げました。日々の努力が実を結び、全国の舞台で存分に力を発揮した生徒たちを御紹介します。

【文化部】緻密な技で全国へ

機械工作部の生徒は、広島県で開催された若年者ものづくり競技大会で、ものづくりへの情熱をフライス盤に込めて挑みました。また、商業部の生徒は横浜で行われた全国大会の珠算の部に2年連続で出場。正確かつスピーディーな計算力を披露し、日々の地道な努力の成果を示しました。

【運動部】魂を燃やせ！インターハイ出場

インターハイには、2つの部が出場しました。空手道部は岡山県で、鍛え抜かれた技と精神力で強豪に立ち向かいました。そして、アーチェリー部は山口県で、静寂の中で集中力を高め、その一射には全国の舞台への想いが込められていました。

これらの生徒をはじめ多くの生徒たちが各種大会に出場して活躍しています。詳しくは本校のホームページを御覧ください。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://tomesou.myswan.ed.jp/>

（４）柴田高校

〈柴高生 全国の舞台で活躍〉

7～8月に開催された各種全国大会に、陸上競技部、ウエイトリフティング部、柔道部が出場しました。
主な大会結果は次の通りです。

○陸上競技部

第78回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

男子100m 出場

女子ハンマー投 出場

○柔道部

第74回全国高等学校柔道大会

男子66kg級、73kg級 出場

○ウエイトリフティング部

第4回全国高校女子競技大会

女子49kg級 出場

女子59kg級 3位、4位入賞

第27回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会

女子59kg級 4位（クリーン&ジャーク3位）、5位入賞

第72回全国高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会

男子55kg級 8位入賞

男子61kg級 出場

男子67kg級 7位入賞

男子81kg級 6位入賞

男子96kg級 5位入賞（クリーン&ジャーク2位）

男子102kg級 出場



暑さが厳しい中ででの大会でしたが、多くの生徒が全国の舞台へ出場しました。今年度は本校よりウエイトリフティング部6名が全国大会で入賞し、「全国で最も入賞者が多い学校のひとつ」となりました。そして、入賞が叶わなかった生徒も日頃の成果を発揮すべく、力の限りを尽くしました。

10月5日（日）に行われる「第2回オープンキャンパス（体育科）」では、実際に体育科専攻実技種目を体験することができます。加えて、今年度最後のオープンキャンパス（入試相談会）は、11月1日（土）に行われます。ぜひお越しください。

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://sibata.myswan.ed.jp>

(5) 名取高校

〈新体操部〉

8月7日（木）から10日（日）にかけて、山口県下関市で開催されたインターハイに、本校新体操部が出場しました。個人では2年生の吉野佑璃さんが「ロープ」と「クラブ」の2種目に出場しました。大技を決めることができた一方で、細かな部分での課題も残り、個人総合第17位という結果となりました。また、団体では、細かなミスはあったものの、音楽に合わせた表現力を十分に発揮することができ、観客を魅了する演技を届けられました。結果は第12位でしたが、練習の成果を出し切り、選手たちにとっても満足のいく内容となりました。



今回の大会を通じて、技術面はもちろん演技に向かう姿勢の大切さを改めて実感しました。新チームとしては、この学びを次につなげ、一層の成長と飛躍を目指して努力していきます。

温かい御声援、ありがとうございました。

〈弓道部〉

40年ぶりとなる県高校総体女子団体優勝でつかんだインターハイの切符を手に、名取高校弓道部は、8月1日（金）から3日（日）にかけて、鳥取県米子市で開催されたインターハイに出場しました。

前後の移動日と公式練習日によって、監督・選手ともこれまで経験の無い長い遠征となりました。雨が一滴も降らない酷暑のなか、コンディションの維持が第一の目標でしたが、幸い全員が無事に試合に臨めることとなりました。

米子インターハイは70回の記念大会ということで、例年より多くのチームが参加するレベルの高い大会となりました。その中で本校は予選成績20射10中で、残念ながら予選敗退となりました。弓道の試合ではよくあることですがもう1本の的中があれば…、その1本が足りないという状況に、予選最後まで祈り続けることを強いられました。

決勝トーナメント進出を逃しましたが、参加した生徒達は、非常に貴重な経験を積むことができたと思います。そして全国の舞台に怯むことなく、「いつものことをいつも通りやりきることができた」と選手達も振り返るなど、非常に良い顔をしていました。

また、新チームの中心になる2年生も何人か参加することができ、強い学校の強さの理由を知り、またこの高みを経験したことで「ここを目指したい」、「もう一度全国の舞台に立ちたい」という思いも強くなっていると感じます。今回のインターハイ参加を糧に、より上を目指して捲土重来を期す、これが部員の今の心境です。次の目標は、新人大会そして全国選抜です。

最後に、今回の大会では学校・同窓会、そして多くの同窓生、他多くの方々から支援をいただきました。感謝申し上げます。また、校内外の皆様からの温かい御声援、本当にありがとうございました。

これからも普段の稽古と稽古に向かう姿勢を大切に精進していきたいと思っています。

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://natori-h.myswan.ed.jp>

(6) 塩釜高校

〈全国大会出場！塩高生の活躍〉

本校では、ローイング部、パソコン・ビジネス部が全国大会に出場しました。出場した生徒にインタビューを行いました。

◎ローイング部（女子舵手つきクォドルプル）

岸かなさん（ビジネス科3年 鹿島台中出身）

Q.全国大会に出場して成長したと感じたことは？

A.全国という大舞台で緊張もありましたが、精神的に成長ができました。また、最後までやりきることの大切さを学びました。

Q.中学生へのメッセージをください。

A.思い通りにならないことがたくさんあると思います。でも、そこで諦めずに努力を続けていればいい結果に繋がります。最後まで自分を信じて頑張ってください！

◎パソコン・ビジネス部（珠算競技）

高橋未来さん（ビジネス科3年 涌谷中出身）

Q.部活動を通して学んだことをどのように将来に生かしたいですか？

A.どんなことも努力して、成長することを辞めないようにしながら、これからも生活していきたいです。

Q.中学生へのメッセージをください。

A.全国大会はとても刺激的で良い経験をすることができました。日々成長できるように努力をして、是非皆さんもあの景色を見てください。

◎パソコン・ビジネス部（ワープロ競技）

角谷龍之介くん（普通科1年 岩切中出身）

Q.学校や周囲の応援で励まされたことはありますか？

A.部活の人はもちろん、部活以外のクラスの友人にも応援してもらえてすごく嬉しかったです。

Q.中学生へのメッセージをください。

A.タイピングは練習した分だけ成績が伸びる競技です。運動部だった人でも全国大会を目指すことができるので、塩釜高校へ入学したら、是非パソコン・ビジネス部に入部してください！

塩釜高校では、これから全国商業高等学校英語スピーチコンテストで2年生1名が全国大会に出場します。また、東北大会で活躍した生徒もたくさんいます。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://shioko.myswan.ed.jp/>

(7) 古川高校

〈「古高の祭り」と部活動〉

一切のコロナ制限が無くなって3年目の古高祭。今年は例年になく盛り上がりました。昨年度の運営陣が多く残り、経験値の高さからすばらしい文化祭になりました。

今年度の古高祭も、ここ数年続く古高祭オリジナルグッズの販売やステージ発表の「クラスパフォーマンス」では、ほぼ全校生徒が参加しての生パフォーマンスとなり、大変な盛り上がりとなりました。実行委員は例年通り当日まで大忙しでしたが、汗水垂らしつつも充実した活動を行うことができたようでした。経験の少ない1・2年生をリードしつつ、すばらしい段取りでの古高祭となりました。特に新たなことに挑戦したかったようで、実現できませんでしたが芸能人の招聘や新しい取組も数多く検討するなど充実した話し合いでした。昨年度、体育祭後に行われた「キャンプファイヤー」を、今年度はまだ日が高い7月に実施しました。ただし、大音量で盛り上がりすぎたので近所から苦情が殺到したことが唯一、来年度への課題となりそうです。

古高祭 キャンプファイヤー
(令和7年度)



今年度の古高は、県総体や上位大会において活躍することができました。

ソフトボール部男子は2年連続の優勝を果たし、中国インターハイへの出場を果たしました。多くの国民スポーツ大会選手も輩出しています。陸上競技部は女子の走り高跳びで優勝し東北大会へ、また女子やり投げで上位入賞、男子は400mR および400mH、円盤投げで上位入賞を果たし、東北大会へ出場しました。水泳部男子は4×100mR で久しぶりの東北大会出場を果たしています。剣道部は男子個人で2年生ながら堀越大愛（だいな）さんが県総体3位、東北選手権でも3位入賞し、国民スポーツ大会のメンバーに選出されましたが、惜しくも東北3位で滋賀の国民スポーツ大会への出場を逃しました。また、文化部では、文芸部が全国総合文化祭に参加しています。現在は、各運動部が地区新人大会、県新人大会での入賞を目指し、日々活動に励んでいるところです。

文化部の健闘も目立ち、文芸部が東北・北海道大会に出場しています。

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://furuko.myswan.ed.jp/>

（８）鹿島台商業高校

〈軽音楽部・生徒会のボランティア活動〉

8月14日（木）大崎市鹿島台で開催された第45回「鹿島台わらじまつり」に生徒たちはボランティアとして参加し、地域の方々と交流を深めながら、地域活性化に大きく貢献しました。生徒たちは事前準備から当日の運営まで積極的に関わり、炎天下の中でも、まつりの成功に向けて力を尽くしました。

事前準備では来場者を迎えるための顔抜きパネルのデザインを担当しました。完成した顔抜きパネルは、地元のキャラクターや祭りのテーマにちなんだ風景をあしらったもので、会場を華やかに彩るだけでなく、来場者が顔をはめて楽しめる記念撮影スポットとして大好評を博しました。当日はビンゴカードの販売を担当し、笑顔で接客を心がけながら、地域の方々との会話を楽しみました。また、ステージ発表では軽音楽部による演奏が行われ、若さあふれるパフォーマンスで会場を大いに盛り上げました。来場者からは拍手と歓声が送られ、まつりの雰囲気を一層華やかにしました。まつりのクライマックスである、わらじパレードでは、神輿担ぎにも参加しました。地域の伝統文化を肌で感じながら、仲間と声を掛け合い、力を合わせて神輿を担ぐ姿は、地域の一員としての誇りを象徴するものでした。

このような活動を通じて、生徒たちは「地域に貢献する喜び」や「人とのつながりの大切さ」を実感し、今後の成長につながる貴重な体験を得ることができました。



顔抜きパネルのデザイン

〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://kasimadai-ch.myswan.ed.jp/>

(9) 第二工業高校

〈資格取得にチャレンジ!〉

本校は、「電子機械科」と「電気科」の2学科がある夜間定時制工業高等学校です。「ものづくり」の基本的な知識・技術の習得と資格取得のための講習会の実施など、工業人として即戦力となるような学びを提供しています。国家試験の他にも様々な資格取得のための学習支援を行っており、多くの生徒が卒業までに複数の資格を取得しています。

電子機械科では、7月23日(水)から30日(水)まで、宮城労働局認定の「ガス溶接技能講習」を実施しました。ガス溶接業務に使用する設備の構造及び取扱いの方法に関する知識や関係法令などの学科講習と実技講習が行われ、最終日に行われた認定試験の結果、受講生徒全員が合格することができました。

電気科においても、7月24日(木)からの4日間、地域の産業界と行政、学校が連携・協働し、高校生が企業の方々との交流を通じて、実践的な技術や知識を学ぶ「みやぎクラフトマン21事業」による「ものづくり実践支援」として、白石市の平間電設(株)の協力を得て実技指導をしていただきました。この事業で電気工事の実践的な技術や作業上のポイントなどについて直接学ぶことができ、社会人、職業人としての意識を育むことにつながったことでしょう。

他にも、放課後や長期休業期間などを利用して養成講座を実施しています。また、電気工事士の国家試験の受験希望者には、筆記・実技において、丁寧でわかりやすい指導を重ね抜群の合格実績をあげています。専門性を生かした就職や資格取得に挑戦したいと思う中学生の皆さんは、ぜひ本校への進学を考えてみてください。

なお、中学生対象の「学校見学会」を11月11日(火)に開催します。

詳細は、本校ホームページを御覧ください。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://m2k.myswan.ed.jp>

4 入学を目指す皆さんへ（お知らせ・メッセージ）

（１）村田高校

〈村田高校は、主体的に考えて行動できる力を持ち、
自らの夢や希望の実現を図れる生徒を育成しています〉

『村高祭』のテーマ

〈『BeREAL.～村高祭の思い出をシェアしよう～

#マジヤバイ村高界限』〉

2年前から制限のない一般公開となり、地域の方々をはじめ多くの方に足を運んでいただいて、大変盛況のうちに終わることができました。今年度も更に盛り上げていけるように、現在準備を進めているところです。村高生の文化活動を表現する展示・発表・販売等の活躍を御覧になっていただき一緒に盛り上げていただきたいと思います。

たくさんの皆様の御来校お待ちしております。

『村高祭』一般公開

日程 10月25日（土） 9：30～13：15

会場 宮城県村田高等学校 [柴田郡村田町大字村田字金谷1番地]

【 JR「大河原駅」からミヤコーバス川崎行き「村田南町」

下車 徒歩5分 】



昨年の「村高祭」から



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://murata-h.myswan.ed.jp>

（２）利府高校



く「さわやか 利府高 心はひとつ」く

《普通科》

必修科目のほかに多くの選択科目が開設されており、じっくりと学習に取り組める教育課程となっています。週末課題や各種課外講習などを通して「自立する学習者」を目指し、個々の目標達成をサポートしています。また、部活動では、スポーツ科学科の生徒と共に全国の舞台で活躍しています。

《スポーツ科学科》

スポーツを科学的に分析し、競技力向上に向けた高度な技能や生涯スポーツに必要な基礎知識を学ぶだけでなく、「スポーツ経験を社会で活かせる人間の育成」を目指し、専門的な教育活動を展開しています。また、外部講師による授業では、より専門性の高い、最先端のスポーツを学ぶことができます。

《部活動》

利府高校は部活動が大変盛んな学校で、運動部・文化部ともに素晴らしい成績を残しています。今年度はハンドボール部・陸上競技部・フェンシング部が全国大会出場を果たすなど、全国を舞台に大いに活躍しました。今後も各種大会・選手権・コンクールなどへの参加が予定されています。利府高校生のますますの活躍に御注目ください。

さらに、本校では部活動が大好きな中学生を対象に『部活動支援プロジェクト』と称し、講習会や合同練習会を開催しています。県内の中学生のみなさん、利府高校生と一緒に活動してみませんか？詳しくは本校HPを御覧ください。



く 学校のホームページはこちらです く

<https://rifu-h.myswan.ed.jp/>

（３）黒川高校

〈普通科と工業科のハイブリッド・スクール〉

本校は、明治34（1901）年に黒川農学校として開校し、今年で創立125年目を迎える歴史と地域とともに歩み続けている伝統のある高校です。学科構成は、普通科および機械科・電子工学科・環境技術科の4学科からなる、全国的にも例の少ない“普通科と工業系学科のハイブリッド・スクール”となっています。工業系3学科は、充実した施設・設備のもと実習や課題研究を中心としたより実践的な学習をすることができ、「ものづくり」をキーワードに専門的な知識・技能を身に付けた、社会に貢献できる人材を育成しています。資格取得に挑戦する意欲的な生徒も多く、様々なコンテストにも出場しています。普通科は一人ひとりの個性を伸ばし、基礎的な学力と表現力、豊かな想像力を身につけることで、大学進学から就職まで多様な進路に対応できる学習に力を入れています。

学校の近隣には、国際的な企業が数多く進出している仙台北部中核工業団地が控えており、地域産業の人材育成のために、キャリア教育を充実させ、個に応じたきめ細やかな進路指導に努めています。

中学生の皆さん、多様な学びと経験ができる黒川高校で自分の夢を見つけ、その実現に向けてともに成長していきましょう！

10月25日（土）文化祭一般公開および11月8日（土）学校説明会を予定しております。詳細は、ホームページにて御確認ください。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://kurokawa.myswan.ed.jp>

（４）佐沼高校

〈「入学を目指す皆さんへ～佐沼高校について～」〉

佐沼高校は創立123年の歴史を持つ地域の拠点校です。漫画家の石ノ森章太郎氏や大友克洋氏、作家の熊谷達也氏をはじめ、多くの有為な人材を輩出してきました。在校生は文武両道を校是とし、お互いに切磋琢磨して生活しています。

授業は50分7時間（月・金は6時間）で知識技能の習得や思考力の向上を目指しています。総合的な探究の時間では地域人材・資源を契機に国内外との連携を意識し、地域課題や学術研究など3年間通しての系統的な探究活動を行っています。

部活動も盛んであり、今年度は、ボート部男女ダブルスカルがインターハイに、美術部が全国総文祭にそれぞれ出場しました。また、佐高三大行事としてダンスフェスティバル、佐高祭、スポーツフェスティバルがあり、学年の垣根を越え毎年大いに盛り上がります。

いよいよ今月、新校舎が完成します。9月27日（土）午後、10月4日（土）午前に学校説明会を予定していますので、ぜひ足を運んでみてください。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://sanuma.myswan.ed.jp/>

（５）築館高校一迫商業キャンパス

〈「学びたい！」がココにある ～地域に学び・地域を創る人財の育成～〉

本校は今年度入学生より『築館高校一迫商業キャンパス情報ビジネス科』として新たにスタートしました。栗原をフィールドワークの舞台とし、地域の課題や魅力を情報の力を創造・活用し、そして発信していきます。これまで20年続いてきた「栗原版デュアルシステム」は継承され、さらに地域と連携をしながら学習をすすめていきます。学ぶことが楽しくなる学校です。

〇一迫商業キャンパスの特色

ＩＣＴ利活用能力の向上

- ・新たなＩＣＴ社会に対応する基礎を身に付け、利活用能力を向上させ、情報発信能力を身に付けます。
- ・静止画や動画を作成・編集する技術を学び、インターネットで活用する方法を学びます。



地域の課題を探り、魅力を発信

- ・地域の課題を高校生の目線で探り、解決にむけて取り組みます。また、新たな地域の魅力を発見し、情報スキルを活用し、あらゆる媒体で発信する技法を学びます。
- ・地域の観光資源や伝統を発見し、それを活用した、販わう「まち」を目指す思考を身に付けます。



地域との協働した学び

- ・栗原版デュアルシステム（※）により、地域にも学びの場を広げ、実践的な学びに取り組むことにより、起業家感覚や経営感覚を身に付けます。
- ・様々な地域課題へのアプローチの手法について学び、地域に貢献できる人財を育成します。

※ デュアルシステムとは企業での実習と学校での講義等の教育を組み合わせることで実施することにより高校生を一人前の職業人に育てる仕組みのことです。一迫商業高校では『販売実習』『企業実習』『起業家研究』の3班に分かれ、平成17年度より取り組んでいます。

資格取得に向けたサポート

- ・資格取得に向けたサポートを行い、就職や進学で役立つ基礎的・基本的な知識・技術の習得に繋がります。
- ・生徒個々に合わせた指導体制により、基礎的な知識の習得や学ぶ意欲を育てます。

〈学習する商業科目〉

ビジネス基礎・簿記・情報処理・プログラミング・ソフトウェア活用・CG制作演習（仮）・観光ビジネス・総合実践・ネットワーク活用・課題研究

〈学校のホームページはこちらです〉

<https://ichisho-ca.myswan.ed.jp/>

（６）東松島高校

〈オープンキャンパスを開催します！〉

第2回オープンキャンパス

〈日程〉10月25日（土）※文化祭と同時開催

全体会①（全体会②）※全体会①か全体会②を選択

10時30分 東松祭一般公開開始

10時45分（12時45分）～ 受付

11時00分（13時00分）～ 全体会

（学校説明、時間割作成演習）

13時00分 東松祭一般公開終了

オープンキャンパスでは、本校最大の特徴である「単位制・三部制における個人別時間割作成」を実際に体験していただく予定です。これによって、どのような学校生活のリズムになるのかもイメージできるのではないかと考えています。また、校舎見学では、個別に情報を受け取ることができるパーソナルボックスという本校独自の仕組みも知っていただければと思っています。

第2回オープンキャンパスは、本校文化祭「東松（とうしょう）祭（さい）」の一般公開日です。ステージ発表や模擬店など、本校生徒の生の姿に触れ、高校ならではの文化祭も楽しんでいただければと思います。全体会①に参加の方は全体会終了後、全体会②に参加の方は受付前の時間帯を利用して校内を一巡りしてみてください。お待ちしております。

申し込み方法等の詳細は、本校ホームページにて御確認ください。



ホームページで
“ひがまつライフ”
を更新中♪

宮城県東松島高等学校HP



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://higashi-matsushima.myswan.ed.jp/>